令和８年度　第３回小淵沢地域委員会会議録

１　開催日時　令和８年１０月１日（木）

午後７時００分開会～午後８時３０分閉会

２　開催場所　小淵沢総合支所会議室

３　参加委員　中山宏樹、藤原真理、仁科浩一、黒瀬教史、小林由美子、茅野秀明

茅野キヨ子、菊地勝、野中真理子、深澤久、宮沢裕夫

４　欠席委員　宮沢俊彦、佐野恭子、下地克弥、坂本秀樹

５　事務局員　小淵沢総合支所長　中山由郷、地域市民課長　吉田武、

地域市民課市民担当　本荘有

産業観光部観光課長　清水良一、観光課観光振興担当　浅川大樹、

企画部企画課交通・統計担当　柴井健太

６　議　　題　令和８年度予算使途提案事業の新規事業提案について

７　報告事項　（１）公共ライドシェア実証運行について

（２）今後の予定について

（３）その他

８　公開・非公開の別　　公開　　・　　非公開

９　傍聴人数　　０人

１０　署　　名　　署名委員　　３番　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

署名委員　　５番　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

１　開会

２　会長あいさつ

梅雨のような長雨も終わり稲刈りが行われている状況である。例年であればホースショーの時期だが、今年はホースショーは国民スポーツ大会の関係もあり中止となっている。乗馬施設への支援ということもあり小淵沢町内の飲食店や宿泊施設で乗馬ができるクーポンを今月から配布している。今年初めての試みであるためどうなるかわからないが、また結果については皆さんに報告したいと思うが、なるべく多くの方に乗っていただき、小淵沢の活性化に繋がるよう務めていきたい。またこれまでホースショーとともに信玄棒道ウォークを実施していたが、今年は１１月１日に開催する。その際に例年引き馬を実施していたが市からの支援により引き馬は今年は無料ということにした。町内の方も含め皆さんが乗っていただけるようお誘い合わせの上来場してほしい。本日は１件だが予算使途提案事業について審査を行う。慎重な審査をお願いしたい。

３　小淵沢総合支所長あいさつ

私からは先日の市議会の様子を紹介させていただく。小淵沢地域に関わるところであるが、補正予算があり小淵沢第３駐車場の増設に係る工事費について議決いただいた。今年度中に３４台分の増設を見込んでおり、最終的に８０台が駐車可能となる。公共ライドシェアの実証運行に係る経費についても議決いただいた。また議員質問において、「小淵沢エリアについて観光の玄関口として重要であり特別感を醸成するために景観との調和への考えは」との質問に対し、小淵沢エリア振興ビジョンが掲げる「品格と安らぎを感じるリゾート地」の実現のため、推進項目の一つとして、アースカラー等を基本とした周辺景観と調和する看板の色彩やデザインのあり方について検討を進めていく、と答弁した。小淵沢保育園について２件あり、「園庭の築山の安全対策についてどうか」は、これまでもブランコとの間にクッションを設置しているが更なる対策の必要性を認識している、と答弁した。「テラスの風雨の対策」については、ヒサシの改修は現実的ではないという前提だが、テラス内での脱ぎ履きをするということで対応したい、と答弁した。今後も北杜市を前に進めるために特に小淵沢地域発展のため力を入れていく。

４　議題

（北杜市地域委員会設置条例第８条２項の規定により、会長が議事を務めることとしているため、会長が議長を務め議事進行。）

（議長）

議長を務めさせていただく。有意義な委員会となるよう、ご協力をお願いする。この会議は、北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱第３条公開の原則に基づき開催されている。公開という形で進めることでよいか。

（委員）

異議なし

（議長）

次に、議事録署名人の選出を行う。３番黒瀬委員、５番小林委員にお願いする。

それでは、議題「令和８年度予算使途提案事業の新規提案」について、事務局から説明をお願いする。

・「令和８年度予算使途提案事業の新規事業」について

（事務局）

経過について説明する。前回の地域委員会において、当初予定していた「馬のまち小淵沢ルールの作成、啓発事業」は、提案者の都合により今年度の事業実施は難しい状況となったことを説明した。また、今年度の地域委員会連絡協議会で示されたが、予算の組み替えについて方針が若干変更となり、柔軟な対応が可能となった。このような中、会長からの声かけもあったようだが「小淵沢やうやう市実行委員会」から計画書の提出があった。このようなことから、地域委員会において提案者からの提案を審査し、予算の可否について検討いただきたくお願いしたい。なお、予算の組み替えに対しての要件としては、「新規事業」については、４つの要件があり、１つ目が『当初提案した事業内容と同等またはより高い効果が認められるもの』、２つ目が『地域委員会の総意として必要だと判断したもの』、３つ目が『市長の再ヒアリングを受けること』、４つ目が『年度内に事業が完了すること』となっている。このうち、市長への再ヒアリングについては、９月１８日に、会長、副会長とともに市長への再ヒアリング

を行い、予算の組み替えについて、了承を得ている。

　次に審査の方法については提案者からの説明は１０分程度で行い、その後委員からの質疑応答となる。質疑応答が終わり、提案者が退出したら、審査採点表へ点数の記載をする。評価項目は、事業目的及び内容、特徴、効果、計画性の観点で、特によいと思う場合は３点で、以下劣ると思う場合は０点ということで、採点を採点欄に記載していただく。また、今回の申請額に対し、補助金の減額が必要であると思う場合は、一番下の欄に〇印を記載する。採点が終わったら事務局で採点表を回収し、集計ができ次第集計表を配布するので、予算の決定について審議していただきたい。

（議長）

　事務局からの説明が終わった。提案者からの説明を受けたいと思う。

（提案者入場）

（議長）

　それでは提案者からの説明を受けたいと思う。説明は１０分程度でお願いする。説明後質疑応答となる。

（提案者説明）

　今回「小淵沢やうやう市」というマルシェイベントの広報や運営に関する支援をいただきたいということで申請した。企画の概要について過去をさかのぼると自分自身が２０２３年頃から「こぶちさわすずらん祭り」という商店街で実施している祭りに関わることになり、３年ほど手伝っている。年に１回の祭りだがすごく賑わいがありいいと思うが、夏の１回だけでもったいないという思いがあり「こぶちさわすずらん祭り」実行委員会のメンバーと、また別の賑わいを作るためのイベントとして「小淵沢やうやう市」を立ち上げた。現在は年に２回開催するようにしており、前回は６月２０日に開催している。場所はいろいろ変わってはいるが現在は「小淵沢総合スポーツセンター」の駐車場スペースを使用し行っている。出店者は概ね４０～５０店舗くらいで、キッチンカーやクラフト作家やパン屋や一般のフリーマーケットの方が出店してくれている。前回は６月２０日で過ごしやすい時期であったため来客も多く、推計であるが５００～７００人くらいの来客があった。今回は年に２回のうちの２回目の開催を１０月１２日に行う予定である。本日チラシを配布しているが、これを北杜市内全域に約１万部の折り込みをし広報していきたい。チラシの端に書いてあるが、チラシ持参の方にちょっとしたプレゼントを企画している。資金源についてはこの活動は有志で行っており、コアメンバーは５～６人だが、小淵沢町内の７～８人のメン

バーや当日設営などのメンバーを合わせると１０人ほどいるが、過去には商工会の補助金を活用したりしたが、基本的には自分たちの持ち出しで、できる範囲の資金で実施している。出店料の売り上げのみで運営している。本来、広報に力を入れて集客し、出店者にも還元したいと思うが、そのような予算は自分たちの売り上げだけではなかなか難しいので、そういった部分で支援をいただければと思う。

（議長）

委員から質問や意見があればお願いする。

（委員）

予算の収入に関してだが、出店料が１１万５千円とあるが、１区画２，０００円で募集していると思うが単純に計算すると９万円ではないか。

（提案者）

出店料は細かくいうとキッチンカーは４，０００円などで一律ではない。おおよその平均で算出している。

（委員）

１１万５，０００円は確保できる見込みなのか。

（提案者）

今回はそれよりも少しだけ上回ると想定している。

（委員）

地元メンバーが数人いるということだが、この地区で実施する場合におけるステークホルダーとしての地域住人の私たちとの関わりというものはどのように考えているか。

（提案者）

まず単純に来客していただき楽しんでいただければ嬉しいし、いろいろな専門分野の方がいるので、出店や何かしらの形で協力してもらい、みんなで作っていけたらいいと思っている。ゆくゆくは協賛やスポンサーとして地域の企業、事業者に協賛いただき、そういった部分でも資金を増やし拡大していけたらと思っている。

（委員）

ここに出店する事業者や出店者は地域の限定のようなものはあるのか。選別はどの

ようにしているのか。

（提案者）

　そこはスタッフの中でも議論しているが、基本的にはスタッフにゆかりのある事業者を選んでいる。主旨を理解してくれている方に声かけをしている。出店者が勧める別の出店者もあり、キッチンカーやマルシェエリアについてはそのような形で少しずつ広がっている。フリーマーケットエリアはＳＮＳで募集し、どなたでも応募できるような受付にしている。できるだけ市内、県内がいいが、それだけではなかなか集まらないため今の段階では広く声をかけている。

（委員）

　１０月１２日は小淵沢町で「スポーツ祭り」が開催される予定だが、そのあたりの兼ね合いはどうか。

（提案者）

　スポーツセンターの指定管理者と話をし、グラウンドは「スポーツ祭り」で午前中使用するが、使用するエリアはその上の駐車場のスペースのため、そこであれば使用可能ということで許可されている。「スポーツ祭り」で楽しんだ住民の方が、その後に立ち寄ってくれたらという思いで、あえて合わせたというところもある。

（委員）

　商工会から支援があったという話があったが、今年はなかったということか。

（提案者）

　６月の開催では申請している。年１回という条件であったと思うので、２回目に関しては利用できないため、今回こちらに申請した。

（委員）

　開催場所だが、そんなに広くはないと思うが。

（提案者）

　前回開催し、出店者が４０店舗ほどであるため、ちょうどよい感じであった。

（委員）

　来訪した方が停める駐車場はあるのか。

（提案者）

上の段にあるゲートボール場の横の場所を駐車場にする。

（委員）

隣接する高校の行事と重なることはないか。

（提案者）

今のところは聞いていない。試合や練習で父兄の方が停められることがあるが、学校には、当日実施するため別の場所に駐車してもらうようには伝えている。もし当日そうした父兄の方が来た場合は、スタッフが対応し別の場所へ誘導することを想定している。

（委員）

４回開催していると思うが、目的に「会場で住民、企業が交流し様々な機会が生まれる」とあるが、これまでで具体的にあったか。例えば一緒に商品を作るようになったなど。

（提案者）

作家がオリジナルグッズを一緒に作るなどの話はあったが制作の予算もなく、今のところは保留となっている。このイベントをきっかけに関わりたいと言ってくれるクリエイターや住民の方も声をかけていただいており、実施したおかげであると思っている。

（議長）

他に質疑はあるか。（他に質疑なし）

無いようなので質疑はこれで打ち切る。提案者は退席ください。審査結果は後日連絡する。

（提案者退席）

（議長）

審査に入る。審査採点表に採点を記載してください。集計ができるまでしばらくお待ちください。（採点集計）

（議長）

集計ができたので、事務局から説明を求める。

（事務局）

ひとりあたり１２点の持ち点で、平均点は７．６４点であった。１件減額の意見があった。

（議長）

この事業について意見がある方はお願いする。

（委員）

商工会での補助金が前回のときに出ているとのことであったが、その金額は承知しているか。出店料があるので補助金はどうなのかと思う。出店料があるのであれば団体で考えていただきたい。物価も高騰し持ち出しもあると思うが、そこは工夫し全額ではなく減額してはどうかと思った。

（事務局）

商工会からの補助金額は承知していない。

（委員）

基本的にこの点数が何点以上だったら出すなどの基準はあるのか。

（事務局）

基準は特にない。委員の評価の結果を確認し検討いただきたい。

（委員）

定性的なものに対する定数は合計して平均を出してもある意味何の意味もない。目的に対してどのくらいの評価がされているかという統計上の解釈は成り立つが意味がないと思う。

（委員）

小淵沢の特徴的な事業かと言えばそうではないと思うが、賑わいを作る、人の交流する場を作ろうとしていることに対し、いいのではないかという応援の意味の点数を付けた。あとは決まってからの意見だが、チラシの印刷や効果というものを実際に測るとすると、チラシを持ってきた人に対してＰＲグッズのプレゼントということがあるので、いくつチラシを持ってきた人がいて、プレゼントをいくつ出したのか、というような報告を出していただくのは必ず必要であると思う。

（委員）

　点数については、今までの流れで行ってきたところであり、再検討するのであれば再検討するということで、今回は基本的にこれでよいのではないか。

（委員）

　３回実施し今回４回目で継続しているということは、地域の中で行っている事業では非常に珍しいので、こういうところにお金を出すのであれば目的がはっきりしており出せるだけ出してよいと思う。

（議長）

　他に意見はあるか。無いようであれば承認するかしないか決定していきたい。

　承認することでよいか。

（異議なし）

（議長）

　附帯事項として、結果報告をすることを附していただきたい。

（事務局）

　実績報告において報告してもらうようにする。

（議長）

　金額については１０万円でよいか。

（異議なし）

（議長）

　それでは、１０万円ということで決定する。

５　報告事項

・（１）公共ライドシェア実証運行について

（議長）

　続いて５報告事項に入る。

事務局から説明をお願いする。

（観光課・企画課入場）

（観光課）

本事業を実施することとなった経過について説明する。本年度から国の補助金を活用し、小淵沢地域を拠点に小淵沢の象徴である「馬のまち」を核として、持続的な観光振興の発展を目指しているところである。なぜ小淵沢なのかという点については、小淵沢は、八ケ岳南麓を代表するリゾート地であることや、小淵沢駅に特急が停車することなどから、東京から約２時間、名古屋から約２時間３０分でアクセスできる立地のよさ、北杜市の魅力を伝えることができる様々なコンセプト、例えば自然、歴史、文化などが多くあることから、小淵沢振興ビジョンとして公共ライドシェアを実施していくものである。公共ライドシェア実証運行の内容は、小淵沢発着の週末夜間の移動をサポートする、というもので、小淵沢駅周辺では、週末や観光シーズンの夕方から夜間にかけて、タクシードライバーの人手不足により、タクシーを手配しにくい時間帯があり、観光客などの移動手段を確保するため、公共ライドシェアの実証運行を行うものである。利用の際は、まずタクシーを優先して配車し、タクシーを手配できない場合に、利用者の同意を得たうえで公共ライドシェアを案内する。タクシー事業者の運行管理のもと、所定の講習・研修を受けた一般ドライバーが、タクシー車両を使用して運行していく。運行の概要は、運行期間が令和８年１０月から令和９年１月まで、運行日時が原則、土・日曜日の１８時３０分から２１時３０分までとなっている。運行区域は、乗車地または降車地のいずれかが小淵沢町内であることが条件となっている。利用対象は、観光客、市民、そのほか北杜市を訪れる方としている。利用方法については、北杜市の地域交通連絡会という組織があり、協議の中で大泉タクシーへ電話し、タクシーを配車できない場合に、公共ライドシェアを案内することになった。実証期間中の利用者アンケートは重要だと考えており、利用状況や満足度、安全性、既存の交通への影響を検証していく。皆さまのご理解とご協力をお願いする。

（議長）

この件について質問や意見があればお願いする。

（委員）

連絡先が大泉タクシーとなっているが、町内にいれば北杜タクシー、小淵沢タクシーだと思うが、大泉タクシーに電話する人がどれだけいるのかと思う。実証運行を行っているということで、宿泊施設、飲食店、観光施設に市から働きかけて、まずは大

泉タクシーに連絡してください、ということを行うのか、または自然に任せるのか。

（観光課）

広くＰＲしていきたいと考えており、大泉タクシーが窓口であることを周知していきたいと考えている。

（委員）

わかりにくいのだが、土日の午後６時３０分から午後９時３０分までのライドシェアのプラットホームを公共が行うという理解でよいか。

（観光課）

そのとおりである。

（委員）

配車の手配について、大泉タクシーをプラットホームに見立て配車すると言う意味か。

（観光課）

そのとおりである。

（委員）

この事業の最終目的は何か。

（観光課）

タクシー車両はあるが運転手がいない。市民の移動の足は市民バスやデマンドバスがあるが、週末の夜の時間帯の観光客の移動の足に対して研究を行いたい。

（委員）

この実証実験はどこの省庁か。

（観光課）

国土交通省によるものである。

（委員）

どこの要求によるものなのか。国が行いたいものか。市が行いたいものか。タクシー業界か。あるいは市の観光協会か。

（観光課）

小淵沢振興ビジョンの一つの事業として、市が国へ公共ライドシェアの実証を行いたいということで申請している。

（委員）

タクシー事業者はどう考えているか。

（観光課）

タクシーの運行が下がってしまうということが心配されたが、地域交通連絡会の中で協議をしており、理解を得た中で進めている。

（委員）

大泉タクシーにしてしまったら利益相反にはならないのか。

（観光課）

タクシーを優先することになっている。これから運行していくので見えない部分はある。タクシー業者の協力も得た中で進めている。

（委員）

所定の講習・研修を受けた一般ドライバーがタクシー車両を使用して運行するということだが、２種免許の講習を受けるということか。

（観光課）

国のライドシェアの所定の講習があり、それを受けるということと、任意になるがタクシー会社の車両を使用するのでタクシー事業者がタクシーを運転できるようにするための研修を実施する。一般ドライバーが運転するのでドライバーの育成に対しては、任せきりではなく見ていきたい。

（委員）

ここに時間がとられるのではないかと思う。ドライバーは登録制か。

（観光課）

タクシー会社に雇用されるという形態となる。タクシーを運転するまでには６０時間の研修を実施していると聞いている。そこを基本とするが、個人宅までということではなく、観光施設や飲食店と小淵沢駅間を運行することを想定しており、６０時間

まではかからないと思っているが、タクシー事業者で研修していく中で個々のスキルに合わせ研修を実施していく。

（委員）

観光客を対象としていると思うが、一般ドライバーの方が運転中に万が一何かあった場合は保険などはきちんとしているのか。

（観光課）

公共ライドシェア専門の保険があり、保険をかけているため対応できる。

（委員）

違和感がある。夕方から夜間にかけてということだが、なぜこの時間帯なのか。昼間や午後タクシーがないという実態は見るが理由があるのか。

（観光課）

地域交通連絡会とも相談し、タクシードライバーの高齢化、人手不足に対しこの時間が当たってくるということがあるとの話を受け、今回土日のこの時間帯に実証としてどのようなニーズがあるのか、ということを調べていきたい。

（委員）

利用者が多い、という理由ではない、ということか。

（観光課）

利用者が多い、ということが理由ではないが、そこを把握するための実証事業でもある。

（委員）

運行期間について、１０月から１月ということだが日にちも決まっていないのか。

（観光課）

基本的には土日を考えている。現在研修を行っており、研修終了後の１０月１０日頃からの運行を考えている。

（委員）

地域とどのように関わるか、ということについてだが、今地域の人たちが全然知らない。

（観光課）

来月号の広報誌に掲載し周知する予定。議会の承認を得てからということで、今月号には掲載できなかった。

（委員）

研修を受けている方は何人か。

（観光課）

２人である。タクシー１台を配車する。

（委員）

ライドシェアとタクシーの料金はどうか。

（観光課）

国の基準があり、ライドシェアについてはタクシーの８割程度というルールがありそちらに従って料金を決定している。

（委員）

国からの補助金が交付されると思うが、この補助金は何に使われるものか。

（観光課）

運行やチラシ作成など運行や運営に関すること、ドライバーの人件費も対象経費となっている。

（委員）

研修を受けている方が２人いるが、何件あるかわからないが、何もなくてもその方への人件費も払われるような補助金か。

（観光課）

そのとおりである。研修時間についても支払われるようになっている。

（議長）

他に質疑はあるか。（特になし）

その他、「秋の乗馬フェア」について説明をお願いしたい。

（観光課）

現在「秋の乗馬フェア」ということでクーポン券の配布が始まっている。対象施設で５，０００円使用する度に１，０００円分の乗馬クーポンを１枚配布するということで、計画どおりにスタートしている。利用していただきたい。

（観光課・企画課退席）

・（２）今後の予定について

（議長）

それでは、今後の予定について、事務局から説明をお願いする。

（事務局）

市政報告会について、１０月２１日（水）午後２時から須玉ふれあい館で実施予定。本日通知を配布している。今回はデジタル庁企画官の講演を予定している。参加をお願いしたい。会長、副会長の予定となるが、１０月３０日（金）午後１時３０分から地域委員会連絡協議会が予定されている。１１月下旬から１２月上旬頃に第４回小淵沢地域委員会を予定している。１０月３０日の連絡協議会の内容や令和９年度予算使途提案事業の審査を行う予定である。

・（３）その他

（議長）

その他について、何かあるか。

（委員）

小淵沢の交通の運営委員をしているが、ご存じの方もいると思うが、富士見町のバスが全面的に変わり、小淵沢駅、スパティオ小淵沢に乗り入れてくる。今までもスパティオ小淵沢に２便乗り入れていたが、富士見町がＡＩデマンド交通に切り替えたため、これからは電話をすれば時間に関係なく小淵沢駅、スパティオ小淵沢に来るようになった。富士見町への病院、買い物など多くなってきている中で、こうしたことが１０月１日から行われている。これまでもスパティオ小淵沢からの利用者はいたようだが、その延長線上に新しい形のものが生まれたので、皆さんに紹介させていただく。

先程のライドシェアの話で、いろいろな地域のライドシェアを見ているが、公共交

通を充実させていくべきと考える。「のらざあ」は茅野市、原村、富士見町がほぼ一体となって行っている。北杜市から韮崎市など広域の公共交通が生まれてこないと、人口減少の問題も含めてやっていけないのではないかと思う。

（委員）

（大和神楽実施のお知らせ）

（委員）

（愛育会からのお知らせ）

（議長）

これで協議事項を終わる。協力ありがとうございました。

５　閉会

午後８時３０分終了